第1053号
受
29.12.20
付
小郡三井医師会

福県医発第2369号（地）
平成29年12月20日

各 医 師 会 長　殿

福 岡 県 医 師 会
会長　松　田　峻一良
（公　印　省　略）

資格関係誤りレセプト発生防止の取組みについて

社会保険診療報酬支払基金福岡支部（以下、「福岡支部」）においては、資格関係誤りに係るレセプトの発生防止について種々の取組みが行われているところでありますが、福岡支部における資格関係誤りレセプト発生件数と調整率（発生率）の推移を見ると、減少傾向にありあるものの、平成28年度の状況は平成27年度より若干増加（約1千件）しており、依然として多数発生している状況であります。

そこで、例年同様、今年度も平成30年1月から3月にかけて「資格関係誤りレセプトの発生防止強化月間」を設定し、保険医療機関及び保険者に対して、懇談及び文書連絡を実施することによって、資格関係誤り発生の未然防止に取組むこととする旨、別紙のとおり通知がありましたのでご連絡いたします。

つきましては、資格関係誤り請求による診療報酬収入の遅延を防止するためにも、資格関係誤りに係るレセプトの未然防止について、貴会会員への周知方につきよろしくお願い申し上げます。

なお、

1）平成29年4月から6月までの間に、再審査資格返戻された上位30医療機関を抽出し、そのうち4医療機関について福岡支部による訪問懇談が行われることとなっております。また、それ以外の26医療機関については、別紙の事務連絡と当該医療機関の発生状況をグラフ化したものが送付されることとなっております。

2）本件については、福岡県医報平成30年1月号に掲載予定でありますことを申し添えます。

小郡三井医師会より

医療保険担当理事　山下拓郎
会長　白石恒明

重要性分類Ⅲ
事務連絡
平成29年12月12日

福岡県医師会御中

社会保険診療報酬支払基金福岡支部

資格関係誤りレセプト発生防止の取組みについて

平素は、支払基金の業務運営につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、支払基金では資格関係の誤りに係るレセプトの発生防止について、種々取組みを行っているところであり、皆様方のご理解とご協力により年々減少傾向にあります。

しかしながら、この種の誤りは、支払基金の業務処理過程において発見が困難であり、保険医療機関におかれましてもレセプトが返戻されると、その処理に多大な労力を要することになり、再請求するまでの間は診療報酬の収入が遅延することとなります。また、中には確認が取れないため、レセプトが請求先不明となり損失が発生する場合もあります。

このようなことから、支払基金といたしましては、毎年、「資格関係誤りレセプトの発生防止強化月間」を設定し、保険医療機関及び保険者に対しまして、懇談及び文書連絡を実施し、資格関係誤り発生の未然防止に取組むこととしております。

つきましては、引続き特段のご配意をいただき、今後とも、資格関係誤りの発生防止について、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、別紙の資料について貴会広報誌に掲載していただき、会員の皆様へお知らせしていただきますよう重ねてお願い申し上げます。

福岡県医師会 受付 29.12.12 4132

（案）

事　務　連　絡
平成 30 年〇月〇日

〇〇〇〇病院・医院　御中

社会保険診療報酬支払基金福岡支部

資格関係誤りレセプトの発生防止について（お願い）

平素は、支払基金の業務運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、支払基金では資格関係誤りに係るレセプトの発生防止について、種々取組みを行っているところであり、皆様方のご理解とご協力により年々減少傾向にありますが、この種の誤りは、支払基金の業務処理過程において発見が困難であり、医療機関におかれましても、レセプトが返戻されると、その処理に多大な労力を要することになります。また、再請求できるまでの間、診療報酬収入が遅延することとなり、中には確認が取れないため、レセプトが請求先不明となる場合もあります。

つきましては、下記の事項に特段のご配意をいただき、今後ともこの資格関係誤りレセプトの未然防止に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、貴院の「平成 29 年 4 月～6 月の理由別発生状況のグラフ」を添付しておりますので、参考にしていただきますよう重ねてお願い申し上げます。

記

1　初診時及び再診時には、被保険者証（カード）による受診資格の確認をお願いします。

2　被保険者証（カード）からカルテ、レセプトへの転記（入力）誤りにご留意願います。

3　限度額適用認定証の「有効期限」、「適用区分」の確認をお願いします。

別紙

支払基金福岡支部からのお願い

資格関係誤りレセプト発生防止にご協力ください！

平素は、支払基金の事業運営に格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、資格関係誤りレセプトについては、皆様方のご協力により、年々減少傾向にあり、平成28年度の状況は昨年度より若干増加（約１千件）したところでありますが、この種の誤りは、支払基金の業務処理過程において発見が困難であり、医療機関におかれましても、レセプトが返戻されると、その処理に多大な労力を要することになります。また、中には確認が取れないため、レセプトが請求先不明となる場合もあります。

つきましては、下記のことにご留意いただき資格関係誤りレセプトの減少にご協力をお願いいたします。

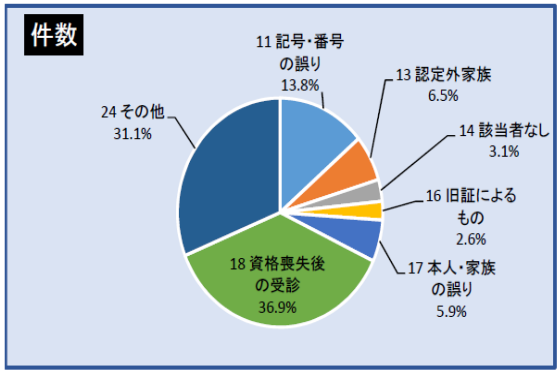
記

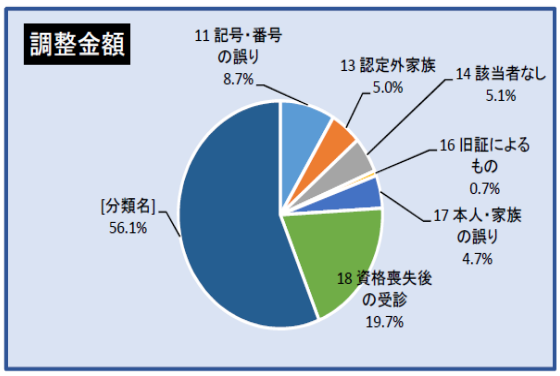
１　初診時及び再診時には、被保険者証（カード）による受診資格の確認をお願いします。
２　被保険者証（カード）からカルテ、レセプトへの転記（入力）誤りにご留意願います。
３　限度額適用認定証の「有効期限」、「適用区分」の確認をお願いします。

平成28年度　医科資格関係誤り発生状況（福岡支部）

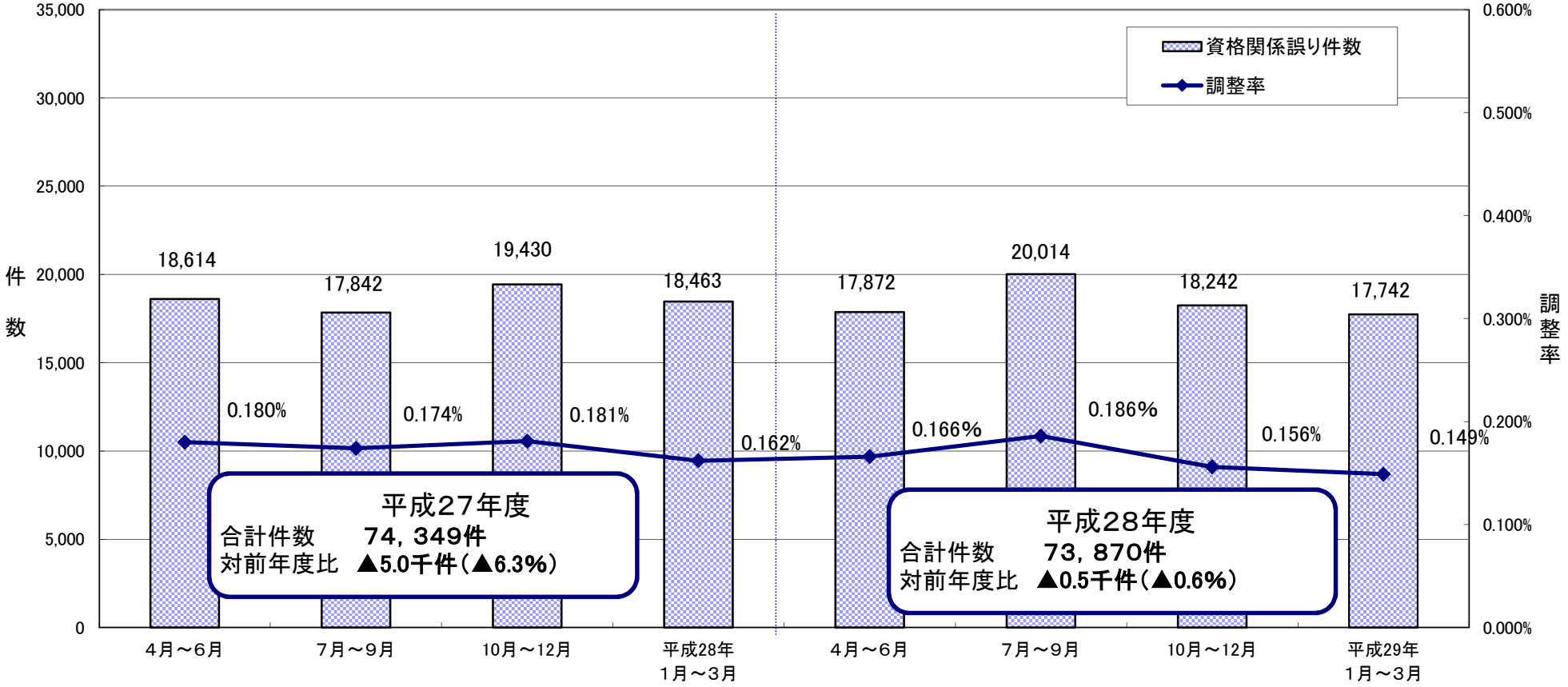
区　　分	件数	割合	調整金額	割合
	件	%	円	%
11 記号・番号の誤り	6,089	13.8	121,065,495	8.7
13 認定外家族	2,858	6.5	69,372,860	5.0
14 該当者なし	1,349	3.1	70,729,280	5.1
16 旧証によるもの	1,156	2.6	10,111,497	0.7
17 本人・家族の誤り	2,601	5.9	65,343,156	4.7
18 資格喪失後の受診	16,239	36.9	275,593,850	19.7
24 その他	13,696	31.1	786,960,715	56.1
合　　計	43,988	100.0	1,399,176,853	100.0

注　その他は患者名誤り、保険者名と記号の不一致、受給者番号の不一致等である。





資格関係誤りレセプト発生件数と調整率の推移（福岡支部）



処理月	平成27年度				平成28年度			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	平成28年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	平成29年 1月～3月
診療報酬確定件数	10,318,705	10,241,372	10,752,190	11,393,480	10,792,212	10,785,223	11,682,025	11,870,189
資格関係誤り件数	18,614	17,842	19,430	18,463	17,872	20,014	18,242	17,742
調整率	0.180%	0.174%	0.181%	0.162%	0.166%	0.186%	0.156%	0.149%
1カ月平均	6，196件（▲6．3%）				6，156件（▲0.6%）			

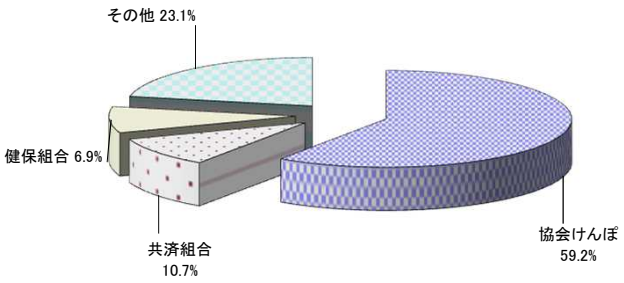
注　（　　）内の数字は、対前年度比である。

平成28年度　資格関係誤り発生状況（福岡支部）

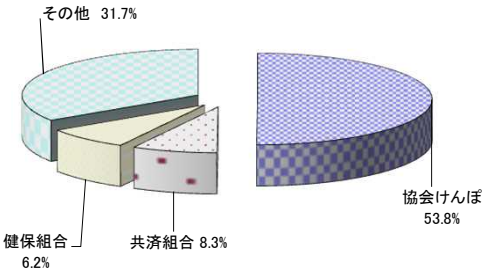
1　制度別発生状況

区　　分	件数	割合	調整金額	割合
協　会　け　ん　ぽ	43,749 件	59.2 %	831,615,756 円	53.8 %
共　　済　　組　　合	7,926	10.7	129,028,391	8.3
健　　保　　組　　合	5,119	6.9	95,082,027	6.2
そ　　の　　他	17,076	23.1	489,705,947	31.7
合　　計	73,870		1,545,432,121	

件　数



調整金額

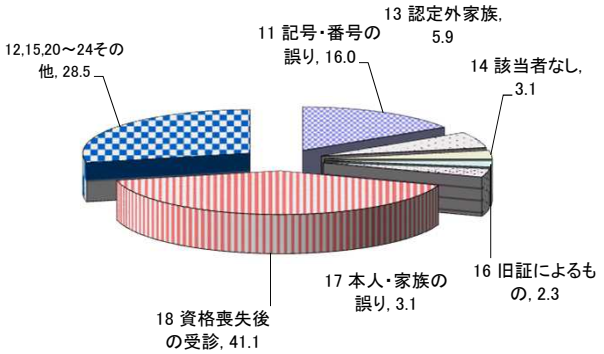
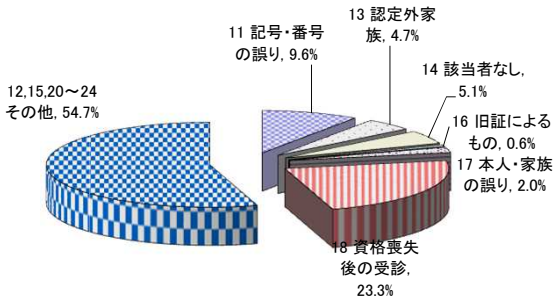


2　理由別

区　　分	件数	割合	調整金額	割合
11 記号･番号の誤り	11,792 件	16.0 %	148,771,094 円	9.6 %
13 認定外家族	4,318	5.9	72,572,786	4.7
14 該当者なし	2,290	3.1	78,852,936	5.1
16 旧証によるもの	1,681	2.3	9,152,305	0.6
17 本人･家族の誤り	2,308	3.1	30,506,930	2.0
18 資格喪失後の受診	30,355	41.1	360,055,522	23.3
24 その他	21,126	28.5	845,520,548	54.7
合　　計	73,870		1,545,432,121	

注　その他は患者名誤り、保険者名と記号の不一致、受給者番号の不一致等である。

件　数



調整金額